

インクルーシブの窓



令和5年9月 富山県教育委員会県立学校課特別支援教育班

「富山・金沢宣言」をご存知ですか？



今年5月、富山市と金沢市でG7の教育担当大臣会合が開催されました。「コロナの影響を踏まえた今後の教育のあり方」をテーマとして議論が行われ、地元の学校を訪問し子供たちとの交流が深められたことなどもマスコミで大きく取り上げられましたね。

ところで、この会合の成果として、共同宣言「富山・金沢宣言」が採択されたことをご存知でしょうか？ G7各国間で自由・平和、法の支配と民主主義の価値観を共有しつつ、各国で教育政策を進めていくことの合意がなされ、G7が今後目指す取組の方向性として以下の4点が確認されました。

1. コロナ禍を経た学校の役割の発揮とICT環境整備
2. 全ての子供たちの可能性を引き出す教育の実現
3. 社会課題の解決とイノベーションを結び付けて成長を生み出す人材の育成
4. 国際社会の連携に向け、新たな価値を創造するための国際教育交流の推進



紙面の都合で詳細は省きますが、取組の方向性の2点目「全ての子供たちの可能性を引き出す教育の実現」において述べられていることの一部を紹介します。

「子供たち一人一人のウェルビーイングの向上につなげていくため、私たちは、幼児教育を含め全ての子供に包摂的かつ公平で質の高い教育へのアクセスを保障していく。そのため、一人一人の子供にとっての個別最適な学びを進め、互いに学び合う機会を確保していく」

「障害のある子供の教育においては、特に障害のある子供と障害のない子供が可能な限り共に協働的に学ぶための環境整備と、一人一人の教育的ニーズに応じた学びの場の整備を同時に進める重要性について認識を共有する」

これからも、子供たちの幸せと充実した人生を願い、子供を真ん中に置いた視点で、インクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育を推進していきましょう。